

創医工夫 ヘルスケア 市場探訪

サードパス（東京都港区）は、疾患についての勉強会や市民向け講座といった医療関連会合の運営をサポートする情報基盤「イベントメディネット」の提供を始めた。利用者は会合開催案内ページを容易に作成し、「フェイスブック」「ツイッター」などの外部ウェブサービスと連動して告知を行える。料金は無料だが、有料イベント開催時にオンライン決済を使ってチケットを販売する場合は手数料がかかる。

同社の大屋亜希子代表理事は「草の根活動の運営負

サードパス

荷軽減に貢献し、医療に関する情報格差を解消したい」と話す。昨今は医療・介護分野の各専門職が連携し、高齢者支援の充実などに取り組む「地域ケア会議」を厚生労働省が推進している。この意味でも関係者間の対話が必要だが、日常業務で多忙な医療従事者にとっては会合の参加者管理や集金が負担となる。イベントメディネットを活用すれば、こうした手間の軽減が期待できる。

医療会合の運営支援

情報基盤「イベントメディネット」

サードパスは今後、会合の結果報告でも同システムを使いたい意向だ。例えば勉強会の内容を資料にまとめて公開することが考えられる。自社で動画教材などをつくることも想定する。このような流れでコンテンツが充実すれば「事前にウェブ上で予習をしておき、イベント参加時は議論に時間をかける」（大屋代表理事）ことも可能になりそう



ウェブ上での交流・学習支援の場を提供
（大屋代表理事）

（随時掲載）